



2026年3月31日
株式会社 JR 東海リテイリング・プラス
日揮ホールディングス株式会社
株式会社レボインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

JR 東海リテイリング・プラス食品工場の 廃食用油を国産 SAF の原料として提供

株式会社 JR 東海リテイリング・プラス（本社：名古屋市、代表取締役社長 小林 創（以下、JR-PLUS））、日揮ホールディングス株式会社（本社：横浜市、代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤 雅之（以下、日揮 HD））、株式会社レボインターナショナル（本社：京都市、代表取締役 CEO 越川哲也（以下、レボインターナショナル））、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（本社：横浜市、代表者 高田岳志（以下、SAFFAIRE SKY ENERGY））の4社は、JR-PLUSの東京・名古屋・大阪地区の食品工場において排出される使用済み食用油（以下、廃食用油）を、国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下 SAF）の原料として供給する連携について、このたび基本合意書を締結しました。また、JR-PLUSは国内資源循環による脱炭素社会実現を目指すプロジェクト「Fry to Fly Project」に賛同し、本日付で参画します。



JR PLUS 食品工場と調製の様子

JR-PLUSは、JR東海グループの流通事業の中核会社として、これまでも食品工場で使用した廃食用油を飼料や肥料などへ再利用する活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。今回の連携では、国産SAFの原料として廃食用油を提供することで、CO₂排出削減への貢献を強化します。締結した基本合意書に基づき、2026年4月より、JR-PLUSの全ての食品工場において、廃食用油を国産SAFに再利用する取り組みに移行し、さらなる気候変動対策への貢献を目指します。提供する廃食用油は年間およそ60,000kgを見込んでいます。本提供量からは、年間で最大約55,000リットルのSAFを生産でき、CO₂削減効果は150,000kg-CO₂となる見込みです。

レボインターナショナルは廃食用油の収集を担い、SAFFAIRE SKY ENERGYへ引き渡します。SAFFAIRE SKY ENERGYは、大阪府堺市の国産 SAF 大規模生産プラントにおいて引き取った廃食用油を原料として SAF の製造を行います。日揮 HD

は、廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーン構築を主導します。



JR-PLUS 食品工場からの廃食用油回収の様子

JR-PLUS と日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY の 4 社は、本連携を通じて国産 SAF の安定供給体制を確立し、日本の航空業界の脱炭素化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【SAF とは】

SAF (Sustainable Aviation Fuel) は、廃食用油などを原料とする航空燃料として、従来の航空燃料と比較し CO₂ 排出量を大幅に削減することが可能なエネルギーです。航空機は自動車などと違い電気や水素などの燃料では代替しにくいことから SAF の利用による CO₂ 排出削減が世界で求められています。

日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10% を SAF に置き換える目標を掲げており、さらに 2050 年には、カーボンニュートラルにすることを目指しています。その実現に向け、国産 SAF の原料である廃食用油の安定的な調達が必要の課題となっています。一方で SAF の原料である廃食用油は、年間およそ 10 万 t が海外に輸出されているといわれており、輸送による CO₂ が排出されるだけでなく、国産 SAF 製造のための貴重な原料流出につながっています。本取り組みは、この課題解決の一助となるものです。

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD とレポインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。2024 年 12 月にコスモ石油堺製油所（大阪府堺市）内において SAF 製造装置の建設が完了し、2025 年 4 月から SAF の供給を開始しています。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択[※]を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



完工した SAF 製造装置



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>

以上



本件に関する報道関係の方からのお問合せ先

株式会社 JR 東海レテイリング・プラス 広報担当 高野・三摩・川口・小澤
電話：052-562-2502

日揮ホールディングス株式会社 経営企画ユニット 広報グループ 伊達
電話：045-682-8026

株式会社 レポインターナショナル コーポレートサービス部 奥村
電話：075-353-2277